



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ



2020年8月31日
イオン株式会社
イオン北海道株式会社

東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」
岩手・宮城・福島の子どもたちの未来のために
寄付金約6,489万円を贈呈

イオンは、東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県の子どもたちのために、本年3月に実施した東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による拠出金等の合計約6,489万円を贈呈します。なお、イオン北海道株式会社では、道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など124店舗にて実施し、寄付金約626万円を贈呈します。本寄付金は各県の子どもたちの未来を支援する「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎこども育英募金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を通じ、3県の子どもたちの生活や就学の支援に役立てていただきます。

東北の被災地の子どもたちを支援する本取り組みは2013年^{※1}から毎年継続して行っており、このたびの贈呈により、3県への8年間累計の寄付金額は約8億8,565万円となります。

イオンは、「にぎわい東北 — つなげよう、ふるさとのチカラ」を合言葉に、東北の復興・創生に向けて取り組んでいます。お客さまにご参加いただける支援として、今回の寄付のベースとなる東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」や「東北復興支援WAON」等を継続するとともに、東北の優れた製品の拡販や交流型の支援活動、商業施設における防災対策の強化等、グループをあげて様々な活動を実施しています。

また、2012年にイオン労使で立ち上げた「イオン 心をつなぐプロジェクト」では、2021年までの10年間に、30万人の従業員によるボランティア活動、東北沿岸部での30万本の植樹を目標に取り組んでいます。ボランティアについては目標より3年早く2018年8月に参加者が30万人を突破、植樹活動についても2019年3月に目標の30万本を達成しました。現在も両活動を継続しており、2020年7月末時点でボランティアについては約37万8千人が参加、植樹本数は約31万6千本となっています。

イオンはこれからも、にぎわいあふれる東北の未来に向けて、地域の皆さまと手をたずさえ、グループ一丸となってともに歩んでまいります。

【贈呈式について】

- <岩手県>贈呈日：2020年9月9日（水）会場：岩手県庁
贈呈金額：2153万4,807円
出席者：岩手県知事 達増 拓也 様
イオン株式会社 イオン東北代表 家坂 有朋 他
- <宮城県>贈呈日：2020年9月10日（木）会場：宮城県庁
贈呈金額：2171万3,882円
出席者：宮城県知事 村井 嘉浩 様
イオン株式会社 イオン東北代表 家坂 有朋 他
- <福島県>贈呈日：2020年9月4日（金）会場：福島県庁
贈呈金額：2164万1,718円
出席者：福島県知事 内堀 雅雄 様
イオン株式会社 イオン東北代表 家坂 有朋 他

※1 2011年4月に実施した「がんばろう日本！東日本大震災復興支援 黄色いレシートキャンペーン」による寄付は岩手・宮城・福島の3県に贈呈、2012年3月に実施した「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による寄付金は、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じて被災地の子どもの支援に役立てられました。

【寄付の主な内訳について】

■東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

(2020年3月9日～11日実施)

毎月11日の「イオン・デー」に実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」※2について、東北の子どもたちを応援することを目的に、3月は期間を3日間に拡大して実施しました。期間中に全国のグループ各社約2,100店舗において、お客さまから専用ボックスに投函いただいたレシートの1%に当たる約6,050万円を寄付します。道内においても124店舗にて実施し、寄付金は約626万円となりました。



※2「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、2001年から毎月継続して実施している取り組みです。お客さまにお渡しする“黄色いレシート”を、応援したいと思うボランティア団体の名称と活動内容が書かれた店舗設置の箱に投函いただくと、レシート合計金額の1%相当の品物をイオンから各団体に贈呈するというものです。

■「東北復興支援WAON（岩手・宮城・福島）」のご利用金額の一部

イオンの電子マネー「WAON」のご利用金額の一部を地方自治体等に寄付し、地域活性化にお役立ていただく「ご当地WAON」の仕組みに基づき、2012年5月11日に発行した「東北復興支援WAON（岩手・宮城・福島）」の2019年度（2019年3月～2020年2月）のご利用金総額の0.1%に当たる412万2,758円（内訳：岩手県127万8,924円、宮城県145万7,999円、福島県138万5,835円）を寄付します。



■ 語り部の会

イオン北海道株式会社では、2014年から、東日本大震災で被災された方の体験談を伺う「語り部の会」を開催し、これまでに2,000名以上の従業員や一般の皆さまが参加しています。「語り部の会」は、東日本大震災の被災者から実際に体験談を伺い、私たち従業員ができることを考え実行するきっかけとすることを主たるねらいとし、また、今後も長期的な支援を必要とする被災地の現状を知り震災の風化を防ぐこと、自分たちにも起こりうる自然災害に備え今からできることを考えるなど、防災意識を高めるきっかけとすることも兼ねております。

2019年11月に実施した語り部の会では、梨や新米、クリームチーズの味噌漬など、福島県・南相馬市の物産販売会もあわせて実施しました。



<2019年実施の「語り部の会」>



<福島県・南相馬市の物産販売会>

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン(株) コーポレート・コミュニケーション部 安田
イオン北海道(株) 環境・社会貢献・広報・IR部

電話：043-212-6061
電話：011-865-9111